


研究テーマ	現代文化と地域社会	
担当者名	権 永詞	
ゼミの関連キーワード	現代文化、ポップ・カルチャー、遊び、地域振興	
各研究の概要	<p>【ゼミナール1】</p> <p>社会学は人々のつながりとその仕組みに注目する学問である。日々当たり前のように行われるコミュニケーションは、実は様々な社会的な規則や資源によって制約されている。同時に、この制約を超えて新しいつながりを生み出すこともまた、私たちの日々の実践である。本ゼミナールでは、社会学的な視点から「遊び」というコミュニケーションの形式がもつ可能性について考える。ゼミナール1では、次の2点についての理解を目指す。第1に、人間が生み出してきた文化の根底には「遊び」の精神があるということ、第2に現代日本の地域社会が抱えている課題の背景とその解決に向けた取り組みになぜ「遊び」の視点が必要かということ。この2点について、学術書の輪読や映画、小説、漫画などを素材として学んでいく。</p>	
	<p>【ゼミナール2】</p> <p>ゼミナール1での学びを、主に3つの方法で発展させていく。第1に、各自が設定したテーマについて個別に学んでいく。テーマの制限はないが、社会学的な視点であるかが問われる。第2に、輪読や作品分析を通じて、現代文化や現代の地域社会の現状についての知識を深めていく。第3に、地域社会が抱える課題に「遊び」を通じて取り組む実践のケース・スタディをグループワークとして実施する。アウトドアやX-sports、映像メディアなどが、特定の地域と結びついて展開した事例を取り上げる。</p>	
	<p>【卒業研究】</p> <p>ゼミナール2で設定した個人研究テーマを更に掘り下げていく。春学期はテーマの明確化、先行研究の消化、リサーチ・クエッションと仮説の設定を進め、夏休みに向けた計画を作成する。秋学期は教員との個別相談を重ねながら、執筆を本格化させる。</p>	
過去の卒業論文の題目例	<ul style="list-style-type: none"> ・「痛車からみる〈男らしさ〉と女性観 痛車は生身の女性を遠ざけているのか」 ・「スケートボードと自治体の関係性と今後の発展について」 ・「バーチャル・アイドルとしての初音ミクの成長と変化」 ・「少年野球人口を増加させるには 保護者の負担感と取り組み事例から」 	
履修上の注意	<p>まずはしっかりとゼミの課題に取り組み、ゼミ中の議論に積極的に参加すること。ゼミでの学びは、授業時間外での学習が重要な意味を持つ。そのため、準備学習の時間をしっかりととり、ゼミの議論を時間の課題に結びつけていく作業が必要となる。</p>	
関連する課外活動	<p>3年次の夏休みに横須賀市で株式会社シテコベと共同のアイデアソンを行なっている。また、2年次の春休みにも関連する課外活動を行うこともある。</p>	